



#### 水道 GLP 認定証授与式（8月23日）

水道 GLP 認定委員会で認定の更新が決定した徳島市水道局（JWWA-GLP142）の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会理事長室において行った。



#### 配管設計講習会（中部会場：8月6日～8日、中国四国会場：8月21日～23日）

水道事業体及び民間企業等において配管設計の経験が少ない水道技術者の方々98名（中部会場49名、中国四国会場49名）の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。

#### 浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第4回：8月6日～9日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々14名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

#### 第22回 ISO/TC224上水道国内対策委員会（8月9日）

TC224総会及び専門委員会の活動状況について、傘下の各ワーキンググループの活動のほか、他の専門委員会の動向として再生水利用に関する専門委員会 TC282の報告がなされた。



## 地震等緊急時対応の手引き改訂特別調査委員会 第1回相互応援ルール等に関する小委員会（8月20日）

はじめに、議題1「副委員長の選任について」を上程し、福岡市水道局総務課長の江崎委員長長の指名により、東京都水道局水道危機管理専門課長の保永委員が副委員長に就任した。

次に、議題2「地震等緊急時対応の手引き改訂に係る論点の整理について」を上程し、審議内容を踏まえ改訂素案を事務局にて作成し、次回の小委員会で審議することとなった。

また、報告事項1「平成30年北海道胆振東部地震水道施設被害等調査報告書について」、厚生労働省から資料に基づき説明があった。

## 第145回水道 GLP 認定委員会（8月20日）

水道 GLP 認定について、株式会社保健科学東日本（JWWA-GLP144）が新規認定検査機関として審議され決定された。

また、株式会社東洋環境分析センター（JWWA-GLP122）と滋賀県企業庁（JWWA-GLP123）が認定更新検査機関として、柏崎市上下水道局（JWWA-GLP051）と釧路市上下水道部（JWWA-GLP052）が認定維持検査機関として、それぞれ審議され決定された。

## 水道事業管理職事務研修会（東京会場：8月22日～23日、大阪会場：8月27日～28日）

水道事業体に従事する事務系管理職及び管理職を補佐する方々117名（東京会場71名、大阪会場46名）の参加を得て「水道経営と財政のポイント」、「水道事業における労働法体系並びに労務管理」、「水道事業における情報セキュリティ対策」、「水道行政の動向」、「事例研究：浜松市水道事業アセットマネジメント計画～50年先を見据えて～」、「水道料金の徴収整理事務」について研修を実施した。

## 漏水防止講座（東京会場第3回：8月28日～8月30日）

水道事業体及び賛助会員の漏水防止に従事する技術系職員の方々59名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。1日目及び2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題」、「漏水防止作業」、「漏水探知技術」、「漏水機器の取り扱い」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使用した実地研修を行った。

## 漏水防止講座（大阪会場：8月28日～8月30日）

水道事業体及び賛助会員の漏水防止に従事する技術系職員の方々30名の参加を得て、大阪市水道局体験型研修センターにおいて研修会を実施した。1日目及び2日目に「漏水防止概論」、「配水量分析」、「漏水防止対策」、「事故事例・安全対策」、「管路の情報管理」、「漏水探査」、「管路の保全対策と修繕」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使用した実地研修を行った。

#### 令和元年度第4回理事会（9月4日）

吉田理事長が議長となり、報告事項1「公益社団法人日本水道協会の会務」について説明した。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「公益社団法人日本水道協会第95回総会の議案の追加について」が上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

#### 令和元年度第2回運営会議（9月4日）

副会長である長内豊中市長が議長となり、報告事項1「令和2年度水道関係予算の概算要求」について、厚生労働省、総務省から説明があったのち、報告事項2「東日本大震災被災地への復興支援」、報告事項3「令和元年度全国会議（函館市）特別講演」、報告事項4「令和元年度水道イノベーション賞」、報告事項5「指定給水装置工事事業者研修テキスト2019の発刊」、報告事項6「第12回



IWA（国際水協会）世界会議・展示会（コペンハーゲン）」、報告事項7「平成30年度水道賠償責任保険等の実績」について事務局から説明があった。

続いて、第1号議案「令和2年度水道関係予算の要望」、第2号議案「日本水道協会第95回総会会員提出問題」、第3号議案「令和2年度全国会議の開催地」がそれぞれ上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

会議終了後、第1号議案の議決に基づき、衆議院議員会館、参議院議員会館、財務省に対し陳情を行った。